

## 宇宙開発の現状報告

(平成 19 年 2 月 14 日(水)～平成 19 年 2 月 20 日(火))

平成 19 年 2 月 21 日  
宇宙開発委員会事務局

### 宇宙開発に関する海外の動向

2 月 16 日(金)

- 米上院議会、NASA 予算を含む 2007 年度歳出に関する共同決議案を可決 **【米】**

2 月 14 日(水)(現地時間)、米上院本会議は、NASA 予算を含む、未だ法案審議が完了していない 2007 年度歳出について、継続的歳出を認める共同決議案(2006 年 10 月～2007 年 9 月)を可決した。NASA 予算は総額 162 億 4700 万ドルで、当初の大統領要求から 5.5 億ドル減額された。大統領要求からの主な減額事項は探査システムの項目で、約 5.8 億ドル減。

2 月 19 日(月)

- インドとイタリア、宇宙協力促進を含む共同宣言を採択 **【印、伊】**

2 月 15 日(木)(現地時間)、インドのシン首相とイタリアのプロデー首相は、ニューデリーにおいて、宇宙協力促進を含む共同宣言に署名した。両国は、今後イタリア宇宙機関(ASI)とインド宇宙研究機関(ISRO)との協力を一層強化することとしてい

- NASA、磁気圏観測衛星群「THEMIS」の打ち上げに成功 **【米】**  
2 月 17 日(土)23 時 1 分(世界標準時)、米国航空宇宙局(NASA)は、ケープ・カナベラル空軍ステーションからデルタ 2 ロケットを打ち上げ、磁気圏観測衛星群「THEMIS(Time History Events and Macroscale Interactions during Substorms)」5 機の軌道投入に成功した。打ち上げ時の質量は 1 機あたり約 128 kg。  
これらの衛星は、オーロラや通信障害を引き起こす磁気嵐(サブストーム)の解明を目的としている。